読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞▽生きがいについて（神谷美恵子）▽自閉症の僕が跳びはねる理由（東田直樹）▽続・自閉症のぼくが跳びはねる理由（東田直樹）▽夜回り先生子育てで一番大事なこと（水谷修）▽医者の嘘　医者は自分の都合でウソをつく（石井光）▽連鶴（梶よう子）▽修羅走る関が原（山本兼一）▽越境捜査５偽装（笹本稜平）

＜児童書＞▽けんぽうえほんあなたこそたからもの（いとうまこと／たるいしまこ）▽目で見る政治（国家）のしくみと私たちの選択（Ａ・マー／大塚道子）▽アンパンマンのおはなしわくわくシリーズ①～⑥（やなせたかし）

■みずうみ読書の家

＜一　般＞▽こいわすれ（畠中恵）▽あの家に暮らす四人の女（三浦しをん）▽水曜日の凱歌（乃南アサ）▽悲素（帚木蓬生）▽桜吹雪（佐伯泰英）▽路地裏人生論（平川克美）▽日々の光（ジェイ・ルービン）▽ふしぎな君が代（辻田真佐憲）▽信長影絵＜上・下＞（津本陽）▽抱く女（桐野夏生）▽天空の蜂（東野圭吾）▽姫神（安部龍太郎）▽砂の街路図（佐々木譲）▽きわこのこと（まさきとしか）▽子どものまま中年化する若者たち（鍋田恭孝）▽戦場カメラマン　沢田教一の眼（斉藤光政他）▽日本の火山図鑑（高橋正樹）▽北海道のシダ入門図鑑（梅沢俊）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞▽謎の独立国家ソマリランド（高野秀行）▽海賊国家プントランド（高野秀行）▽神さまたちの遊ぶ庭（宮下奈都）▽ゼロの迎撃（安生　正）

＜児童書＞▽ちびのミイのおひっこし？（トーベ・ヤンソン原作　リーナ＆サミ・カーラ文、絵　もりしたけいこ訳）

今月の1冊

「ハッピーバースデー（命かがやく瞬間）」

青木和雄　作
加藤美紀　画

11歳（五年生）のあすか、肉親の心無い一言で、声を失い、心を閉ざしてしまう。

誰にでも起こりうる事なのかも知れない。

あすかが、困難と向き合い一つ一つ解決してゆく姿に感動します。

ピノキオ読み聞かせ会

■日　時　11月9日 14時30分
■場　所　あぶた読書の家

●開館時間
10時～16時20分まで
●10月休館日
8日・12日・15日・22日・29日・11月3日・5日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた ☎76-2100
みずうみ ☎75-4702

わたしのうた

短　歌　【あぶた短歌会】九月定例会

二百十日も難なく過ぎて静なり
　庭の日ざしに動く秋草　　大西　芳子

夕ぐれの冷たき風の吹く中を
　飛蝗（ばった）一匹身じろぎもせず　　北島　加代

どこまでも線路は続くと歌へども
　思ひ出くれし駅は消へゆく　　太田　智

街の中の蝉を見つけて樹に移し
　おろおろしながらほっと息つく　　元田　フジ子

夕つ日にあいたる今年の幸せを
　かみしめながら今日の日をとず　　山木　孝

俳　句　【あぷた俳句会】九月定例会

雄だけの啼いて張り合う宵の虫　　小笠原　勇

一畳に虫の音を聴く夜の静寂　　菅原　敏子

蜉蝣の儚さ夢二の絵を重ね　　千葉　征子

鈴虫や避難難民なんと聴く　　三瓶　修

十六夜や髪を洗ひて空仰ぐ　　那須　伶子

向日葵の百の笑（え）まひに椅子二つ　　矢野　知子

休暇果つ路へ残りしチョーク跡　　佐藤　美風